

まえだれ  
お前誰だ!?





どうしてもって  
いうなら  
ちがら  
うば  
力づくで奪え!

行け!  
ヤマト!!



...!  
な、なんだい  
あのカブトムシ!

とつても  
まがまが  
禍々しいネ!

あんな柄  
みこと  
見た事ないで!?

きを付けや  
コウタ!

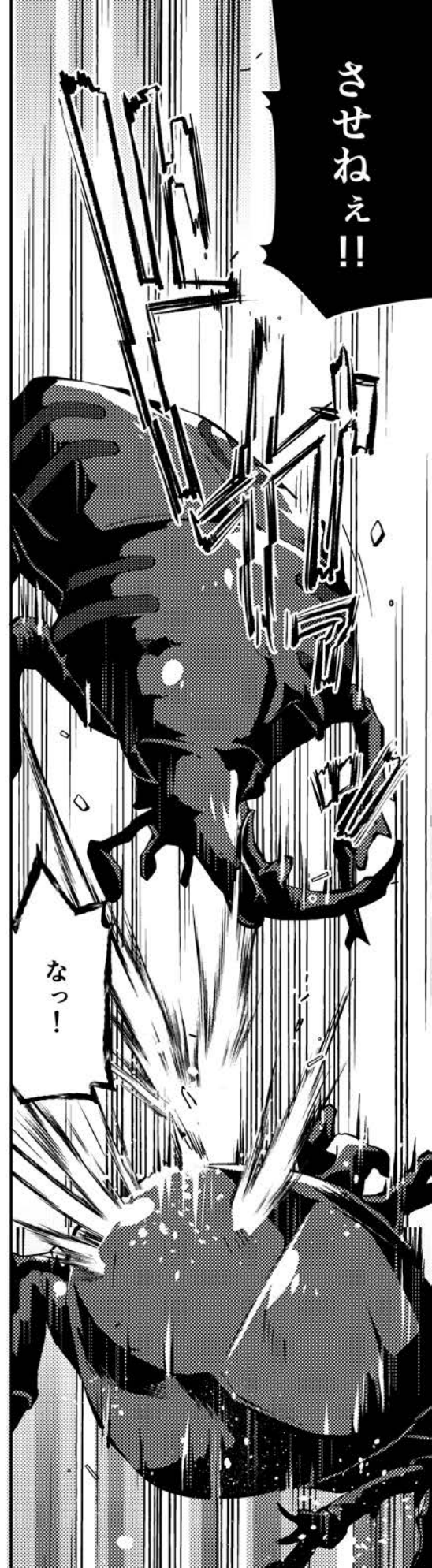


大丈夫だよ!

いこうカブ郎!



させねえ!!



弱<sup>よわ</sup>いやつは  
チャンピオンに  
触<sup>ふ</sup>れることも  
許<sup>ゆる</sup>されねえんだ!

叩<sup>たた</sup>きのめしてやれ!!

カブ郎<sup>ろう</sup>!!

ダメだ、  
強<sup>つよ</sup>さが段違<sup>だんちが</sup>いだ!!

オマイゴッド  
OMG! あんなの  
避<sup>さ</sup>けられないよ!

……あれは……!

なっ!

気<sup>き</sup>をつけるコウタ!  
そいつは——



これでトドメだ！

デ  
ス  
ト  
ラ  
イ  
ズ  
ン  
ト  
!!

うわああ!!

ザザザ

カブ郎ろうー!!

い、一瞬……

コウタの奴  
何も出来なかったぞ……

フン、  
口ほどにもねエ

この程度の技で  
チャンピオンを  
名乗るなんて  
百年早いんだよ

お友達と  
ごっこ遊びから  
やり直しな

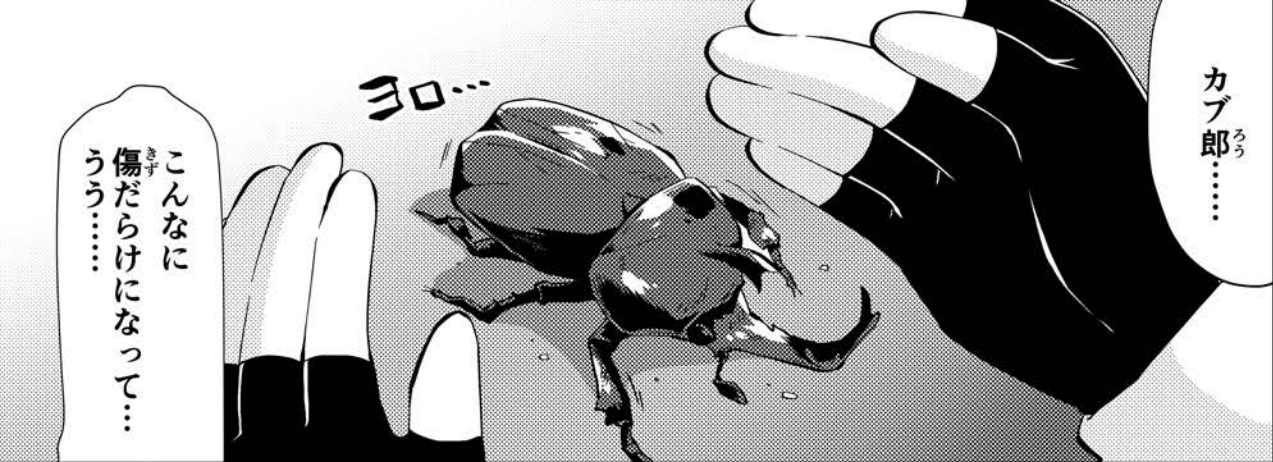


こんなトロフィー  
奪う価値すらねえ

ダイヤモンド、帰るぞ  
これはお前が  
持っておけ

へい!





カブ郎……

ゴロ……

こんなに傷だらけになって……  
うう……



ちやうでコウタ

え？



ごめんよ……ぼくが弱かったばかりに……



……



あいつの戦い  
なんか妙やったん  
気付かんかったか？

妙……？

あのSPEEDYな動き  
とてもカブトムシとは  
思えなかったネ

あの柄だつて  
おかしかつたぞ

オレに  
心当たりがある

セクト？

オレが所属していた組織は  
ビートルバトラーの  
強化施設だったんだが

そこではああいった  
恐ろしい戦い方を  
教えていたんだ

オレはそこで  
ただ勝つためだけに  
カブトムシを道具として使い  
非情に戦う事を教えられた

優しさを見せると  
負けに繋がると言われ  
相手やパートナーが  
どれだけ傷ついても  
戦い抜くように言われた

反則に近い技も  
沢山覚えた……

今となっては  
全て間違いだと  
気付いたんだが……

そうだったんだ……

じゃあアイツは  
同じ組織の  
仲間なの!?





いや…仲間ではない

恐らくもっと上の人間だ

噂だけが聞いたことがあるんだ

あの組織は優秀な  
ビートルバトラーを  
集め育てることで  
未来の軍人を  
作っている……



ビートルバトラーを  
そんな事のために  
使うなんて許せないよ……!

ビートルバトルは  
カブトムシたちと楽しく  
遊ぶためのものなのに……!



そして、いつか  
この世界を支配する  
計画を立てていると……

そ、そんな……



ぼく…修行するよ!  
今の力じゃまだ  
アスナに勝てない……!

もっと強くなつて  
計画を止めるんだ!





……ああ



しゃあねえなあ  
おれでっただ  
俺も手伝ってやるよ!



ワイもや!



その意気ネ!  
ボクも  
きょうりよく  
協力するよ!



みんな……!

よし、行こう!!

ビートルバトルの  
しゅぎょう  
修行の旅へ!!